

令和3年7月13日

宗教法人 阿蘇神社

(お知らせ)

【指定寄附金事業】

平成28年熊本地震で全壊した拝殿の再建工事が完了しました

このたび「指定寄附金制度」を活用した拝殿の再建工事が完了し、関係者ご参列の下、7月12日に竣工祭を執行いたしました。これまでのご支援に感謝し、下記のとおり当該工事の完了をご報告申し上げます。なお、この事業費には当神社に寄せられた指定寄附金や一般寄附金が充当されています。

今後に残る復旧事業の適正運営に努めてまいりますので、引き続きご理解ご協力をお願い申し上げます。

記

工事名称：阿蘇神社拝殿及び翼廊復元工事（略称：拝殿再建工事）

期 間：平成31年2月～令和3年6月（用材調達・工事期間）

事業費：725,582,240円（※旧拝殿の解体撤去費を含む）

受注者：設計監理委託業務〈日本建築工藝設計事務所（東京都）〉

請負工事〈清水建設(株)九州支店〉

用材調達委託業務〈阿蘇森林組合〉

【特記事項】

〈熊本地震により被害を受けた旧拝殿〉

阿蘇神社の拝殿は、南北に翼廊・神饌所・神輿庫が接続する複合社殿です。昭和17年に神祇院の技師によって設計され、その後、戦時体制で着工できずにいましたが、昭和23年に完成しました。台湾ヒノキを用いた近代の神社建築として評価されていましたが、熊本地震では拝殿と翼廊が全壊、神饌所と神輿庫が大規模損壊しました。

〈復旧の方針〉

全壊部分を撤去の上で再建し、損壊した神饌所と神輿庫、翼廊の一部は修復して残す方針としました。事業費確保のため、熊本県が事業確認を行う「平成28年熊本地震により被災した宗教法人の建物等の復旧のための指定寄附金制度」を活用し、当該事業への寄附者に税制の優遇措置が適用されました。

〈施工の特色〉

再建修復の用材には、県産材や地域材、さらに地元の県立阿蘇中央高校の学校林を活用し、郷土色を体現する創造的復興の意義を掲げました（熊本県産材

の使用割合は80%、国産材が15%、外国産材が5%)。

大規模木造建築の耐震補強として、地中梁と柱位置ごとにシームレス鋼管を設置しています。

#### 〈経過〉

- ・平成28年4月16日 熊本地震により拝殿・楼門が全壊、その他社殿が甚大な被害
- ・平成29年1月31日 県知事による指定寄附金制度の事業確認(第1号)
- ・平成31年2月21日 県立阿蘇中央高校演習林において用材調達(伐採)を開始する安全祈願祭
- ・令和元年8月28日 工事安全祈願祭(起工式)
- ・令和2年12月3日 上棟祭
- ・令和3年7月12日 竣工祭

#### 【その他】

##### 〈新拝殿の運用について〉

7月12日の竣工祭後、新拝殿の正面に参拝所を開設しています。殿内の一般使用(御祈願祭等)については、**8月1日(日)11:00**からを予定しています。

以上



竣工祭の様子



熊本地震直後〈平成28年4月16日〉全壊した拜殿（正面）と楼門（右）



復旧の方針



起工式 令和元年 8月



再建中の拝殿 令和2年 9月



上棟式 令和2年12月



竣工した新拝殿と翼廊、修理が完了した神饌所（左手前）・神輿庫（右奥）